

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月24日

上場取引所 東名

上場会社名 日野自動車株式会社

コード番号 7205 URL <http://www.hino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白井 芳夫

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部 広報渉外室長 (氏名) 坂木 敏久

TEL 03-5419-9320

四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	318,923	—	7,362	—	9,076	—	6,890	—
20年3月期第1四半期	309,041	4.8	9,839	33.5	11,425	77.1	6,656	93.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	12.01	—
20年3月期第1四半期	11.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	859,104	315,050	34.6	518.02
20年3月期	874,369	308,758	33.3	507.63

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 297,259百万円 20年3月期 291,300百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	0.00	5.00	0.00	5.00	10.00
21年3月期	0.00	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	0.00	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	690,000	—	18,000	—	16,000	—	8,000	—	13.94
通期	1,420,000	3.8	46,000	0.2	42,000	2.4	22,000	△0.8	38.34

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	574,580,850株	20年3月期	574,580,850株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	743,173株	20年3月期	732,342株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	573,843,396株	20年3月期第1四半期	573,908,661株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期における我が国経済は、輸出の伸びの鈍化、原油、原材料の価格高騰等が企業収益を圧迫し、景気減速の下で推移いたしました。

当社グループ主力製品の国内普通トラック（大型・中型トラック）市場につきましては、建設需要の落ち込みにより総需要は 16,590 台と前第 1 四半期に比べ 1,503 台(△8.3%)減少いたしました。また、小型トラック市場におきましても、総需要は 17,954 台と前第 1 四半期に比べ 3,292 台(△15.5%)減少いたしました。

国内売上台数につきましては、需要減少のもと普通トラック、小型トラック・バス総合計で 8,790 台と前第 1 四半期に比べ 522 台(△5.6%)減少いたしました。

一方、海外トラック・バスの売上台数につきましては、アジア、中南米および中近東地域においての需要の増加により、18,556 台と前第 1 四半期に比べ 4,063 台(28.0%)増加いたしました。

以上により、日野ブランド事業のトラック・バスの総売上台数は 27,346 台となり、前第 1 四半期に比べ 3,541 台(14.9%)増加いたしました。

一方、トヨタ自動車株式会社からの受託生産車につきましては、総生産台数は 45,388 台と前第 1 四半期に比べ 2,753 台(△5.7%)減少いたしました。

以上、海外の日野ブランド車の売上台数の増加により、当第 1 四半期の連結売上高は 318,923 百万円と前第 1 四半期に比べ 9,882 百万円(3.2%)の増収となりました。一方、損益面におきましては、国内トラック売上台数の減少および為替円高により、連結営業利益は 7,362 百万円と前第 1 四半期に比べ 2,477 百万円(△25.2%)の減益、連結経常利益は 9,076 百万円と前第 1 四半期に比べ 2,348 百万円(△20.6%)の減益となりました。また、連結四半期純利益は投資有価証券等売却益の計上により 6,890 百万円と前第 1 四半期に比べ 234 百万円(3.5%)の増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の総資産は、前年度末に比べ 15,265 百万円減少し、859,104 百万円となりました。これは、当第 1 四半期末は前年度末に比べ直近の売上台数が少ないため、売掛債権が 25,713 百万円減少したことが主な要因です。

負債については、前年度末に比べ 21,556 百万円減少し、544,053 百万円となりました。これは、有利子負債が 22,610 百万円減少したことが主な要因です。

純資産については、前年度末に比べ 6,291 百万円増加し、315,050 百万円となりました。これは、四半期純利益 6,890 百万円を計上したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 20 年度の我が国経済は、原油、原材料価格の上昇、米国景気の後退や為替・株式市場の不安定な動向等懸念材料も多く、今後ともこれら経営をとりまく環境の動向を見極めながら、慎重に対処していく必要があります。

当社グループの主力市場であります国内トラック市場におきましては、原油高や輸送業者の経営悪化などにより、引き続き厳しい状況が続くと予測されます。

一方、海外市場におきましては、米国トラック市場の低迷はありますが、資源国をはじめとした需要の拡大および新規市場への参入、生産拠点の拡大など、これまで取り組んでまいりました生産・販売体制の強化により、総じて堅調な販売が続くと予想されます。

このような状況において、今後とも一層の合理化を進めることにより、経営体質の強化、業績の向上に努めてまいり所存であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第 1 四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性に関しては、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、前連結会計年度末からの重要な一時差異の変動を加味したものを使用方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 会計処理基準に関する事項の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、原価法によっておりましたが、当第 1 四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日）が適用されたことに伴い、原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第 1 四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第 18 号 平成 18 年 5 月 17 日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

2. 追加情報

・ 重要な減価償却資産の減価償却の方法

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期連結会計期間より、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成 20 年 6 月 30 日)	前連結会計年度末に係 る要約連結貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,923	29,108
受取手形及び売掛金	212,812	238,526
たな卸資産	116,915	102,565
その他	31,839	33,644
貸倒引当金	△3,361	△3,729
流動資産合計	383,129	400,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	105,935	106,523
機械装置及び運搬具	108,068	108,866
土地	93,546	95,409
その他	35,839	34,008
有形固定資産合計	343,391	344,807
無形固定資産	24,683	25,716
投資その他の資産		
投資有価証券	90,786	86,566
その他	23,369	23,235
貸倒引当金	△6,255	△6,070
投資その他の資産合計	107,900	103,730
固定資産合計	475,974	474,254
資産合計	859,104	874,369
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	192,716	195,741
短期借入金	113,305	114,623
コマーシャルペーパー	11,000	32,000
一年内返済予定の長期借入金	23,453	23,618
未払法人税等	3,669	9,276
賞与引当金	6,679	4,526
製品保証引当金	10,855	10,935
その他	70,114	66,261
流動負債合計	431,794	456,983
固定負債		
長期借入金	37,503	37,630
退職給付引当金	36,767	37,090
その他	37,988	33,906
固定負債合計	112,259	108,627
負債合計	544,053	565,610

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成 20 年 6 月 30 日)	前連結会計年度末に係 る要約連結貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	72,717	72,717
資本剰余金	64,327	64,327
利益剰余金	140,623	136,393
自己株式	△387	△379
株主資本合計	277,280	273,058
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,381	21,939
繰延ヘッジ損益	18	—
土地再評価差額金	1,617	1,617
為替換算調整勘定	△5,038	△5,315
評価・換算差額等合計	19,979	18,241
少数株主持分	17,790	17,458
純資産合計	315,050	308,758
負債純資産合計	859,104	874,369

(2) 四半期連結損益計算書

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月 30 日)
売上高	318,923
売上原価	276,297
売上総利益	42,625
販売費及び一般管理費	
製品保証引当金繰入額	10,855
給与諸手当	9,354
賞与引当金繰入額	1,128
退職給付引当金繰入額	727
その他	13,197
販売費及び一般管理費計	35,263
営業利益	7,362
営業外収益	
受取利息	348
受取配当金	594
為替差益	1,850
雑収入	544
営業外収益計	3,338
営業外費用	
支払利息	1,140
持分法による投資損失	23
雑支出	459
営業外費用計	1,623
経常利益	9,076
特別利益	
投資有価証券等売却益	2,141
その他	135
特別利益計	2,277
特別損失	
固定資産売却損	241
その他	116
特別損失計	358
税金等調整前四半期純利益	10,995
法人税、住民税及び事業税	2,960
法人税等調整額	397
法人税等合計	3,358
少数株主利益	747
四半期純利益	6,890

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

1. 前四半期にかかる財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

前第 1 四半期連結累計期間 (平成 19 年 4 月 1 日～6 月 30 日)

(単位：百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年 3 月期第 1 四半期)
	金額
I 売上高	309,041
II 売上原価	263,780
売上総利益	45,261
III 販売費及び一般管理費	35,421
営業利益	9,839
IV 営業外収益	3,377
V 営業外費用	1,792
経常利益	11,425
VI 特別利益	408
VII 特別損失	557
税金等調整前四半期純利益	11,276
法人税等	4,194
少数株主利益	425
四半期純利益	6,656

2. 生産、売上の状況 (連結)

(1) 生産実績

区 分	前第 1 四半期 連結累計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日)		当第 1 四半期 連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)		増 減
	台数	金額 百万円	台数	金額 百万円	
トラック・バス	25,915	台	27,987	台	2,072
受託車両	48,141	台	45,388	台	△2,753

(2) 売上実績

区 分	前第 1 四半期 連結累計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日)		当第 1 四半期 連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)		増 減	
	台数 台	金額 百万円	台数 台	金額 百万円	台数 台	金額 百万円
国 内	9,312	64,827	8,790	63,422	△522	△1,405
海 外	14,493	61,661	18,556	72,535	4,063	10,874
トラック・バス 計	23,805	126,489	27,346	135,958	3,541	9,468
車 両	48,141	84,275	45,388	79,846	△2,753	△4,429
海外生産用部品ほか	—	1,426	—	1,880	—	454
受託車 計	48,141	85,701	45,388	81,726	△2,753	△3,975
国 内	—	11,378	—	11,797	—	419
海 外	—	4,013	—	5,634	—	1,620
補給部品 計	—	15,392	—	17,432	—	2,039
国 内	—	38,483	—	40,705	—	2,222
海 外	—	4,814	—	6,479	—	1,665
トヨタ	—	38,160	—	36,620	—	△1,539
その他 計	—	81,457	—	83,806	—	2,348
総売上高	—	309,041	—	318,923	—	9,882

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。